

フォト句会 23年3月度成績

開催日：3月7日(火)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：渋谷区地域交流センター
代々木の杜

出席者：7名

写真出題：松 田

お題写真； 桜の下の園児たち（出題；松田）



付け句（桜の下の園児たち；出題；松田）

- 1) 異次元の経済不安出生減 矢澤 正二
園児の姿から人口減少問題に発想を拡げた。
- 2) 母親のコートの下は見栄の花 清水 勝
穏やかな光景にも、女性同士のライバル意識があるらしい。
- 3) 保育士は桜を愛でる余裕なし 大越 浩平
迷子が出ないように目配りする保育士の苦労を想った。
- 4) 人生の苦難始まる入園式 松田 昌康
生まれて初めて「社会」に飛び込む経験。
- 5) お花見のたびに思うわ子の成長 長尾 進一郎
幼い頃の子供の成長はとくに速く感じるものだ。

見上げれば

香りほのかに

昼の月（晃二）





学び舎に別れを告げし遠き春
(進一郎)

雲海の上をすいすい夫婦魚 (昌康)



自由題 寸評

1) 見上げれば香りほのかに昼の月 安藤 晃二
青空に浮かぶ月と手前の紅梅の取り合わせが絶妙。

2) 学び舎に別れを告げし遠き春 長尾 進一郎
木の床を雑巾がけしたのも懐かしい思い出。

3) 雲海の上をすいすい夫婦魚 松田 昌康
魚を描いたエアラインも、それを句にした作者も夢が溢れる。